

畜産ネットワーク ちば

2021年1月18日
第50号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会
〒260-0021
千葉市中央区新宿1-2-3
K&T千葉ビル3階
発行人 森 英介

年頭のご挨拶



公益社団法人千葉県畜産協会
会長 森 英介

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお喜びを申し上げます。

平素より、千葉県畜産協会の事業の推進につきまして、御理解と御協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

まずは、昨年末に千葉県内で発生した高病原性鳥インフルエンザの農場関係者の皆様にはお見舞い申し上げ、早くの復旧と経営再建を祈念いたします。

また、防疫作業にあたって下さっている国、自衛隊、千葉県及び全ての関係者の皆様にあらためて感謝申し上げます。

さて、令和に入って2年目となった昨年は、市民生活においても、また畜産業界においても新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策に追われた1年となりました。

4月には、緊急事態宣言が出され経済活動が停滞すると、畜産業界にも大きな影響が出ました。特に、営業自粛による飲食業向けの牛肉に影響が大きく、牛肉価格は消費停滞により暴落しました。また、学校の休止により学校給食用の牛乳消費がなくなり、行き場のなくなった牛乳が廃棄の危機を迎えました。

このため、政府や関係団体では、肉牛生産者への奨励金の交付、和牛肉の学校給食への供給や牛肉の消費拡大への支援、医療施設等への牛乳の無償提供など様々な対策を打ち出しました。

当協会においても、国等の対策を事業主体として実施する他、協会独自で、県産牛肉の消費キャンペーンの実施や病院への牛乳提供の支援などコロナ対策に取り組んできました。

一方で、COVID-19の影響が比較的少なかった養豚業界では、CSF（豚熱）の発生が関東地域まで拡大したことから、昨年の2月から県内の豚全頭にワクチンの接

種が始まりました。

CSFは、アジア地域で感染拡大したASF（アフリカ豚熱）とともに養豚経営にとって大きな脅威となっており衛生費の増大は今後、大きな課題となって考えています。

当協会では、「ASF侵入防止緊急支援事業」の実施主体として、養豚農場におけるイノシシ等の防護柵の整備に取組む他、協会独自に飼養衛生管理基準の厳格化に伴う衛生資材への助成など、農場の衛生管理の支援を強化しているところです。

この他、一昨年の台風15号等の被害が未だ十分な復旧に至っていないことから、畜舎修復や発電機の整備の支援などにも取り組んできたところです。

このように、畜産業界にとっては激変の1年であり、当協会にとってもCOVID-19、豚熱、災害の復旧などに追われた1年だったと言えるでしょう。

幸いにも、本県ではCOVID-19の影響による牛乳の廃棄は発生せず、生乳生産も回復傾向にあり、また、牛肉市場価格は消費の回復とともに上昇してきています。

また、豚熱ワクチン価格も県で一部減免され衛生費負担が下がるなど、本年スタートに当たり明るい兆しも見えてきました。

本年もCOVID-19については厳しい情勢にありますが、東京オリンピックの開催に再チャレンジする年でもあり、全てにおいて復旧スタートの年でもあります。

当協会では、昨年からのCOVID-19対策なども継続しながら、安全で安心できる千葉県産畜産物を多くの消費者に提供するため、昨年中止した畜産フェアの開催やチバザパーク・チバザビーフ等の活動を通じて消費者へのアピールをより一層強化してまいります。

多岐にわたる事業を進める本協会ですが、今年も農家の視点に立ち、協会一丸となって業務に取り組んでまいり所存です。どうか、令和3年が皆様方にとりまして、輝かしい飛躍の年となりますよう、心から御祈念申し上げます。

目次

- 【1】年頭のご挨拶
- 【2】第58回畜産関係試験研究成果発表会のお知らせ
- 【4】千葉県豚熱防疫演習の開催
- 【4】エコフィード研修会
- 【5】第14回千葉県畜産フェア（プレゼントキャンペーン）
- 【5】肉用子牛生産者補給金制度（第7業務対象年間）
- 【6】優良肉用子牛生産推進緊急対策事業
- 【7】肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）
- 【8】肥育牛経営等緊急支援特別対策事業（肥育生産支援事業）
- 【8】NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信
- 【10】畜産関係施設リース（通常リース）のご案内
- 【12】チバザビーフ協議会報
- 【14】NPC通信
- 【16】令和2年度千葉県肉豚共進会

第58回畜産関係試験研究成果発表会のお知らせ

日本国内において、高病原性鳥インフルエンザや新型コロナウイルス感染症が発生している状況を踏まえ、本会の発生予防の観点から、第58回試験研究成果発表会は動画配信により開催します。

開催期間中は、どなたでも視聴が可能ですので、是非ご覧ください。

また、資料をご希望の方は、畜産総合研究センターまでお問合せくださいますようお願い申し上げます。

●日時：令和3年3月1日（月）～令和3年3月31日（水）

●方法：YouTube「千葉県公式セミナーチャンネル」にて動画配信

https://www.youtube.com/channel/UCljmgzWEU3Ms_7XqlrVQUg

●発表内容：



<酪農・肉牛部門>

◆千葉県における搾乳ロボットの導入効果（畜産総合研究センター 企画環境研究室 井口明浩）

搾乳ロボットを新規導入した県内農家3戸を調査した結果、導入後、経産牛1頭当たりの作業時間が減少し、1人当たりの経産牛頭数が増加するなど生産性の向上が認められた。

◆廃珪藻土を副資材として利用した牛ふんの堆肥化試験（畜産総合研究センター 企画環境研究室 田中航輝）

オガクズに代わる安価な副資材として、製糖工場から廃棄される珪藻土を用いて牛ふんの堆肥化試験を実施した結果、発酵熱や有機物分解率等において良好な結果を得た。

◆稲わら代替粗飼料としての麦およびトールフェスクの検証

（畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 諸岡佳恵）

給与飼料中の稲わら全量を麦稈及びトールフェスク乾草で代替した結果、発育や枝肉成績は同等であり、代替飼料として利用できる可能性が示された。

左から稲わら、麦稈、トールフェスク乾草 →



◆繁殖障害牛に対するModified Fast Back Program (MFBP) を利用した繁殖方法の検討

（畜産総合研究センター 市原乳牛研究所 久保田尚）

繁殖障害の乳用育成牛にMFBPを実施すると受胎率は向上した。特に黄体が低ランクの個体において、受胎率の向上が期待できる。

◆ホルスタイン種における経膈採卵による採卵成績への暑熱の影響

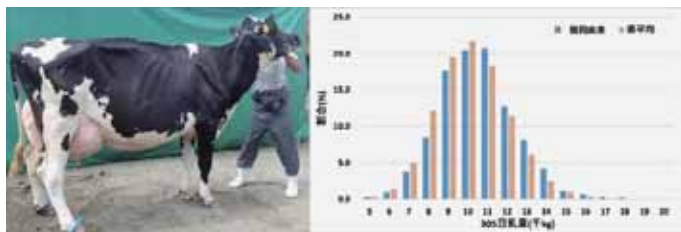
（畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所 中橋冬陽）

適温期と暑熱期に育成牛、搾乳牛、乾乳供卵牛それぞれについて経膈採卵を実施した結果、いずれにおいても適温期と暑熱期における胚盤胞発生数に差は認められなかった。

左)暑熱期における搾乳牛 右)同牛をサーモカメラで撮影 →



◆乳用牛受精卵供給事業における県内牛群への貢献（畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所 中橋冬陽）



事業で供給した受精卵産子及びその娘牛は2,876頭であり、305日乳量で県平均を上回っていた。また、牛群頭数割合の約4割を占めている農家もあり、牛群改良に貢献していた。

← 左)泌乳・体格共に優れた供卵牛

右)娘牛達の305日乳量は県平均を上回っている

◆水田転換畑での長大飼料作物生産における畝立て播種を利用した湿害対策技術の検証

（畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所 時田瞳）

トウモロコシ・ソルガム混播栽培における湿害対策技術として、畝立て播種の増収効果は認められなかったが、合計収量に占めるトウモロコシの割合を増加させる効果はあった。

左)播種から3週間後の様子 右)播種から2か月後の様子 →



◆落水時期の違いがWCS用イネの収量性および飼料成分に及ぼす影響

(畜産総合研究センター 企画環境研究室 山崎藍子)

中生～極晩生のWCS用イネについて早期落水栽培の影響を調査した結果、乾物収量、草丈及びサイレージ発酵に影響を及ぼす水分含量に、品種による差は認められなかった。

< 養豚部門 >

◆母豚への中鎖脂肪酸給与効果 (畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 松本千明)

授乳期中の初産豚及び夏季の経産豚に中鎖脂肪酸を給与したところ、母豚体重と背脂肪厚の減少が抑えられた。夏季の経産豚では発情再帰日数の短縮や子豚の発育も改善された。

◆豚舎用日本型洗浄ロボット開発に向けた実証試験

(畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 竹尾駿)

市販化に向けて開発された肥育豚舎用洗浄ロボットは、人手作業による洗浄時間を76%削減し、同程度の洗浄効果を得ることができ、作業の省力化が可能である。

豚舎用洗浄ロボットによる洗浄



◆系統豚ポウソウル4の維持群における繁殖成績 (畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 竹尾駿)

系統豚ポウソウル4の維持群における分娩腹数216腹の繁殖成績を調べたところ、生存産子数の産次ピークは5産目の10、7頭、離乳頭数のピークは4産目の9、8頭であった。

◆豚熱ワクチン接種豚の抗体調査 (中央家畜保健衛生所 細菌ウイルス課 三浦良彰)

豚熱ワクチン接種による中和抗体価及び哺乳豚の移行抗体の推移を調査し、中和抗体価は接種1カ月で15/19頭、接種2カ月で18/19頭で上昇し、移行抗体は生後1カ月まで確認された。

< 養鶏部門 >

◆低タンパク質飼料による廃鶏の白肝生産技術 (畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 小形次人)



廃鶏からフォアグラ様の白肝を効率よく生産するためには、低タンパク質飼料の粒度を1.0mmとし、11日以上以上の給餌期間が必要であった。

← 白肝(左)とレバー(右)

◆採卵鶏主要銘柄長期飼育比較調査 (畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 伊藤香葉)

採卵鶏の8銘柄を700日齢まで飼育したところ、日齢の進行に伴い産卵率は低下するものの、4銘柄において産卵持続性が優れていた。

<< お問い合わせ先 >>



●千葉県畜産総合研究センター TEL: 043-445-4511 FAX: 043-445-5447
(<http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-chikusan/>)

●千葉県農林水産部畜産課 TEL: 043-223-2939 FAX: 043-222-3098

(公社) 中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

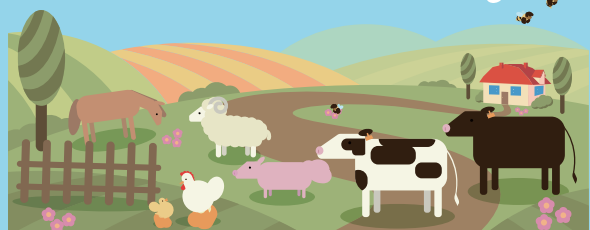
がんばる! 畜産! 4

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!
配信中の内容: 作業・管理の外部委託で規模拡大をめざす! / 若者たちの挑戦! / 鶏の卵が食卓に届くまで / 他



▼スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



(公社) 中央畜産会 経営支援部 (情報) TEL03-6206-0846

千葉県豚熱防疫演習の開催

本防疫演習は県内で豚熱が発生した場合、迅速に防疫措置を行うため、県内養豚場で豚熱が発生したことを想定して実施した。

なお、本演習は新型コロナウイルス感染症対策のため、参加人数を制限し生産者を除く関係機関・団体から過去の千葉県高病原性鳥インフルエンザ及び豚熱演習に1度も参加された経験の無い者を優先して実施した。（総務・企画部 武田）

【防疫演習概要】

- (1) 演習日時：令和2年10月20日 [午前の部] 9時から12時
[午後の部] 13時30分から16時30分まで
- (2) 場所：千葉県立農業大学校
- (3) 参加者：県関係機関、市町村、関係団体等総勢153名
- (4) 演習内容：

① 防疫作業説明

- ア 豚熱発生時の防疫対応及び防疫措置における新型コロナウイルス感染症対策
- イ 防護服着脱の説明、実演
- ウ 傷病者への対応の説明

② 防疫作業実地デモンストレーション

- ア 作業準備：受付・健康管理
- イ 養豚場における殺処分・消毒



エコフィード研修会

本研修会はASF・CSFの発生により、家畜伝染病予防法及び飼料安全法が改正され、肉を扱う事業所から排出される食品残さを原料とする飼料を加熱処理する必要性が生じたことから、先行して導入された事例を視察することで継続的なエコフィード飼料の生産と利用が定着するよう実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため少人数による開催とし、3密を避け時間を短縮して実施した。（総務・企画部 武田）

日時：令和2年10月28日（水）13:30～

場所：旭市 有限会社ブライトピック千葉 溝原工場



ブライトピック説明：
石井常務



今回導入したボイラー視察：
田崎工場長



加熱処理後の飼料槽視察

第14回千葉県畜産フェア（プレゼントキャンペーン）

例年秋に「ふれあい広場」と「千葉県畜産フェア」を船橋競馬場で開催していましたが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「WEBキャンペーン」として開催し、豪華畜産品を計150名様にプレゼントしました。

☆牛肉（20名様）

かずさ和牛、しあわせ絆牛、せんば牛、八千代黒牛、若潮牛

☆豚肉（32名様）

柏幻霜ポークの加工品詰合せ、元気豚詰合せ、
堀江ファームの房総ポークハム&ウインナーセット、
マーガレットポーク詰め合わせ

☆卵（60名様）

千葉県産赤たまご（50個入り）

☆はちみつ（18名様）

菜の花純粋はちみつギフトセット

☆乳製品（20名様）

おなりみるく工房（アイスクリームセット）

※全国各地からご応募がありました。当選者在住の都道府県（23）は次のとおり。

北海道、岩手県、秋田県、山形県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、石川県、山梨県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、鳥取県、島根県、福岡県



昨年度は台風による中止があり、今年度は新型コロナウイルス感染症のため競馬場内で大人数を集めての開催ができず、2年間お客様との交流の場から遠ざかったことは大変残念に思います。

「畜産フェア」につきましては、自然や会場の状況に左右されるイベントではございますが、来年度の実施を目指し、千葉県の畜産業への理解、畜産物の消費拡大を図っていきたくと考えておりますので、関係の皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。（総務・企画部 武田）

肉用子牛生産者補給金制度（第7業務対象年間）

本制度は肉用子牛の価格が低落した場合に、生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定を図ることを目的としております。肉用子牛生産者補給金制度に加入して経営の安定を図りましょう。

令和3年度の畜産物価格が決定し、全品種区分において保証基準価格・合理化目標価格いずれも令和2年度と同額となります。（総務・企画部 武田）

◆ 肉用子牛の保証基準価格及び合理化目標価格

（単位：円/頭）

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格	429,000	395,000	253,000	110,000	216,000

◆ 生産者積立金・負担金

（単位：円/頭）

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
生産者積立金	1,600	6,000	18,800	6,800	3,200
負担内訳（割合）					
国（機構）（1/2）	800	3,000	9,400	3,400	1,600
県（1/4）	400	1,500	4,700	1,700	800
生産者（1/4）	400	1,500	4,700	1,700	800

◆ 発動状況

令和2年度第2四半期（令和2年7～9月）は全品種において発動はありませんでした。

優良肉用子牛生産推進緊急対策事業

新型コロナウイルス感染症による子牛価格の下落に対応するため、肉用子牛生産者への支援を行っております。（総務・企画部 武田）

◆ 支援内容

子牛の全国平均価格（月別）が発動基準を下回った場合に、経営改善に取り組む肉用子牛生産者に対し、販売頭数に応じて奨励金（1万円/頭又は3万円/頭）を交付します。

◆ 対象となる子牛

肉用子牛生産者補給金制度に登録済で、令和2年5月～12月に販売した子牛が対象でしたが、**令和3年3月までに延長されました。**（自家保留・本人取りした子牛は対象になりません。）

◆ 発動状況

令和2年9月分

（単位：円/頭）

品種区分	全国平均価格	奨励金の額	発動基準価格 A	発動基準価格 B
黒毛和牛	669,595	-	600,000	570,000
褐毛和種	590,088	-	550,000	530,000
乳用種	231,661	-	180,000	170,000
交雑種	346,083	-	300,000	290,000

注1：その他の肉専用種の全国平均価格は5～10月分として11月に公表

注2：価格は消費税込み

令和2年10月分

（単位：円/頭）

品種区分	全国平均価格	奨励金の額	発動基準価格 A	発動基準価格 B
黒毛和牛	687,803	-	600,000	570,000
褐毛和種	644,315	-	550,000	530,000
その他の肉専用種	（注1）296,603	30,000	350,000	340,000
乳用種	251,195	-	180,000	170,000
交雑種	346,229	-	300,000	290,000

注1：その他の肉専用種の全国平均価格は5～10月分として計算

注2：価格は消費税込み

令和2年11月分

（単位：円/頭）

品種区分	全国平均価格	奨励金の額	発動基準価格 A	発動基準価格 B
黒毛和牛	745,418	-	600,000	570,000
褐毛和種	668,335	-	550,000	530,000
その他の肉専用種	（注1）296,585	30,000	350,000	340,000
乳用種	255,288	-	180,000	170,000
交雑種	386,202	-	300,000	290,000

注1：その他の肉専用種の全国平均価格は5～11月分として計算

注2：価格は消費税込み

瞳は未来を見つめてる。

動物 未来 みつめる ひろがる

動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）

令和2年7～9月販売分の交付金単価（確定値）について、生産者負担金の納付再開について下記のとおりお知らせいたします。（企画課 小倉）

◆ 交付金単価【令和2年7～9月販売分（確定値）】

（単位：円／頭）

区分		標準的販売価格 (A)	標準的生産費 (B)	差額 (C)=(A)-(B)	交付金単価 (D)= (C) ×0.9
令和2年 7月	肉専用種	1,063,117	1,250,169	△187,052	※ 126,260.1
	交雑種	617,687	818,118	△200,431	180,387.9
	乳用種	450,921	494,289	△43,368	39,031.2
令和2年 8月	肉専用種	1,047,131	1,250,327	△203,196	※ 137,157.3
	交雑種	656,939	827,024	△170,085	153,076.5
	乳用種	449,173	506,525	△57,352	51,616.8
令和2年 9月	肉専用種	1,077,574	1,249,911	△172,337	※ 116,327.475
	交雑種	641,221	823,326	△182,105	163,894.5
	乳用種	447,289	490,852	△43,563	390,206.7

注1：交付金は1円単位で交付となります。

注2：肉専用種にあっては生産者積立金に不足が生じ、4月分以降、国費分のみ（4分の3相当額）の支払いとなっていることから、交付金単価の4分の3相当額を表示しています。（表中の※印）

◆ 生産者負担金の納付再開について

令和2年4月以降、牛マルキンの生産者負担金の納付猶予（国費分（4分の3）の交付）が行われていますが、下記のとおり納付再開の考え方が示され、一定条件を満たせば牛マルキンの生産者負担金の納付が再開されることとなりました。

【納付再開の考え方（仕組み）】

- ① 肉専用種の月平均の枝肉卸売価格（※）が、3か月連続で2,300円/kgを超えた場合、準備期間を経て納付を再開します。※食肉流通統計における食肉中央卸売市場価格（和牛去勢、全規格）
- ② 準備期間については、2か月間とし、連続した3か月目の翌々月から納付再開となります。
- ③ 新たな仕組みの導入は、令和3年1月分からです。

【例】 最短で納付再開となる場合	1～3月 2,300円/kg超	→	4～5月 準備期間（生産者への周知等）	→	6月 納付再開
------------------	--------------------	---	------------------------	---	------------

※1 新型コロナウイルス感染症の発生状況等によっては、納付再開の条件等を変更することもあり得ます。

※2 令和2年3月までに負担金を納付済みの牛が納付再開後に出荷された場合、積立金が払底していた県では国費分（4分の3）の交付となります。

【その他】

- ① 交雑種及び乳用種は、肉専用種の納付を再開するタイミングに合わせて再開されます。
- ② 納付を再開する際には、再開の条件を満たした段階の枝肉価格等を踏まえて、都道府県ごとの保険設定を見直し、生産者負担金の単価が新たに設定されます。

酪農課、肉用牛農家の皆様へ

牛トレーサビリティ制度 あなたの牛は大丈夫？

牛トレーサビリティ制度は、色々な場面で活用されています。
牛の出生や異動の届出は、速やか、かつ正確に行いましょう。

- ◇牛の管理者には、牛トレーサ法に基づく耳標の装着及び各種届出が義務付けられています。
- ◇届出をせずに、又は虚偽の届出をした場合には牛トレーサ法に基づく罰則の対象となります。
- ◇さらに、各種補助金の対象から除外されたり、返還を求められる場合もあります。

牛トレーサビリティ制度に関するお問い合わせは…

- ・ 関東農政局 消費・安全部 水産安全管理課 TEL：048-600-0600
- ・ 関東農政局 千葉支局 牛トレーサビリティ110番 TEL：043-380-0778

肥育牛経営等緊急支援特別対策事業（肥育生産支援事業）

新型コロナウイルス感染症による肥育農家の経営悪化に対応するため、肥育生産支援が行われています。

◆ 事業内容

経営改善に取り組む肥育農家に対し、販売頭数に応じて奨励金を交付しています。毎月、枝肉の全国平均価格に応じて、奨励金単価が変わります。

経営改善の取組については、①飼料分析、②血液分析、③肉質分析、④畜舎の環境改善、⑤経営分析の5つの取組のうち、2つ以上を取組。4万円/頭もしくは5万円/頭の場合は、3つ以上の取組が必要です。（企画課 小倉）

枝肉価格 (中央 10 市場の平均価格) ※1	奨励金単価
条件なし	2万円/頭
対前年同月比▲30%	4万円/頭
対前年同月比▲40%	5万円/頭

※和牛、交雑牛、乳用去勢、乳雌ごとの全規格平均価格

◆ 枝肉価格及び奨励金単価

品種区分	令和2年8月			令和2年9月			令和2年10月		
	枝肉価格 (円/kg)	前年同月比 (%)	奨励金 単価	枝肉価格 (円/kg)	前年同月比 (%)	奨励金 単価	枝肉価格 (円/kg)	前年同月比 (%)	奨励金 単価
肉専用種	2,073	▲11.6	2万円	2,139	▲10.8	2万円	2,355	▲0.5	2万円
交雑種	1,374	▲15.2	2万円	1,327	▲17.0	2万円	1,423	▲8.6	2万円
乳用種	943	▲11.0	2万円	932	▲10.9	2万円	970	▲5.8	2万円
その他	683	4.0	2万円	675	0.1	2万円	690	3.0	2万円

NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

1. 役員会報告

令和2年12月16日（水）（公社）千葉県畜産協会・会議室に於いて、千葉県農林水産部畜産課山崎主幹、（公社）千葉県畜産協会岡田専務理事の来賓出席のもとに、役員9名の出席を得て役員会（第3回）が開催されました。主な協議事項等は下記のとおりです。

（1）令和2年度事業進捗状況報告

① 農場HACCP構築支援指導 委託（公益社団法人中央畜産会）

本事業は（公社）千葉県畜産協会からの依頼に基づき県内への農場HACCP普及推進を図ることとして、昨年度に引き続き県内畜産農家への構築支援や農場で取組んでいる農家へ内部検証等更なる飼養衛生管理向上への支援活動。

○指導員：18名（新規3名）

○支援農場：45件【内訳：乳用牛4、肉用牛16、養豚21、採卵鶏3、ブロイラー1】

☆県内の農場HACCP認証取得状況57農場（内本事業支援農場53農場）

【内訳：乳用牛2、肉用牛11、養豚35、採卵鶏4、ブロイラー1】

② JGAP認証構築等支援

（公社）千葉県畜産協会からの依頼に基づき、JGAP畜産版の構築等の支援活動。

○支援農場：4件【内訳：肉用牛1、養豚1、採卵鶏1、農業高校1】

○支援体制：県畜産課、農業事務所、家畜保健衛生所及び指導員

③ 死亡牛等の受入及び保管等補助業務受託（公募千葉県） 事業費：4,081,000円

中央家畜保健衛生所（佐倉）で実施している死亡牛等の受入及び保管等の業務を補助する業務。

（会員6名、1年間：186日）

○進捗状況：特に問題なく推進中

（2）令和2年度畜産研修会の開催について

昨今の新型コロナウイルスの感染が拡大している状況に鑑み今年度は中止することとなりました。

会員の皆様には大変ご迷惑をおかけすることとなり誠に申し訳ございませんが、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

(3) 人材情報システム運営及び畜産情報収集・提供事業

① 非常勤講師について人材紹介

千葉県農業大学校から（公社）千葉県畜産協会に対して、畜産部門9講座の非常勤講師について人材紹介の依頼があり、畜産人材バンク登録者の会員9名を非常勤講師として紹介。

② 野生獣衛生体制整備緊急対策事業

（公社）千葉県畜産協会から（公社）千葉県獣医師会に受託先が変更、NPOは会議等に参加。

③ エコフィード・TMR普及定着推進事業への協力 委託（千葉県）

（公社）千葉県畜産協会の要請：エコフィードコンサルタント：会員3名

④ 畜産団体事務受託事業

（公社）千葉県畜産協会等からの要請に応じて本会員を派遣。

千葉県農業協会の依頼により、台風被害補助事業の事務処理業務：会員1名

⑤ 消費者交流・動物情操教育事業

（公社）千葉県畜産協会や千葉県馬事畜産振興協議会が実施する畜産フェアに参加して、消費者に対して畜産を正しく理解してもらうための広報や畜産相談コーナーを設置。

→ 新型コロナの影響で中止。

(4) 新規事業について

① 令和2年度生産農場衛生対策緊急強化事業（畜産協会単独事業） 委託費：40万円

- ・農場での外国人研修生等の雇用実態調査の実施：アンケート用紙作成、実施
- ・外国人研修生等への衛生研修会の開催への協力：編集会議、パンフレット作成
- ・研修会の実施：タガログ語、中国語、タイ語で3カ所を計画

② 中央畜産会からの委託事業

排水基準の強化に伴う実態調査：県内3農場における排水処理水の採取協力

2. 農場HACCP普及推進会議・意見交換会の開催

ZoomによるWeb会議及び対面会議の実施。

日時：令和3年2月25日（木）10時30分から

場所：千葉市中央区弁天町

「千葉市生涯学習センター」地下小ホール

意見交換会：10時30分から12時まで

普及推進会議：13時30分から15時30分まで

① 講演：農場HACCPリモート審査について

講師：公益社団法人中央畜産会 守永美夫氏

② 協議事項：農場HACCP事業実施状況と来年度計画、普及推進の課題と問題点

参集範囲：畜産関係県・市町村、畜産関係団体、農場HACCP指導員、NPO会員



R2.6.24 農場HACCP普及推進会議
体験発表【ジェリービーンズ 内山知佳（農場HACCP責任者）】
新型コロナ対応により1人1テーブルで開催

3. 会員状況及び会員募集中

現会員数：86名（内訳：個人71名、団体12団体、賛助3団体）

【NPO会員募集中！】

NPOでは農場HACCP認証支援指導やJGAP支援・指導、死亡牛等の受入及び保管等補助業務等各種の事業に取り組んでいます。NPO活動参加可能な分野、ご意見等をお聞かせ頂きたいとお願いたします。

◎入会申込み・畜産に関する御相談等をお待ちしております。

お問い合わせ…NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局（（公社）千葉県畜産協会内）

TEL：043-241-1738 FAX：043-238-1255

わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 **森久保薬品株式会社**
<http://www.morikubo.co.jp>



畜産関係施設リース（通常リース）のご案内

通常リースのほか、国等の補助事業による補助付リースも実施（補助残の価額で貸付け）しております。詳しくはホームページで

（公財）畜産近代化リース協会のリース事業（通常リース）の特徴・仕組み

◎ 経営資金が有効に使えます

機械の導入時に多額の購入資金を必要としないので、資金を有効に生かすことができます。

◎ 導入する機械施設、購入業者が選べます

リース物件は、農家が自由に選定でき、購入価額も業者と交渉して決めていただけます。

◎ リース物件は、リース期間終了後は自分のものになります

リース期間が終わったら、購入価格の100分の10の額に消費税相当額を加えた額でリースを受けた方に譲渡されます。

◎ リース期間中は、偶発的事故の損害が補償されます

リース機械施設は割安な掛金で損害保険（動産総合保険）に一括加入されるので、リース期間中の火災・落雷・盗難等偶発的な事故による損害が補償されます。

◎ 農家には農業協同組合等を通じてリースされます

リース物件は、農家が選んだ業者から当協会が購入し、農業協同組合等にリースします。農家は、この農業協同組合等から再リースされます。

◎ 特認貸付けもできます

リース可能な機械施設は別表のとおりですが、これ以外でも協会の理事長が特に必要として認めたときは、特認でリースすることができます。本措置を利用して、成分分析機器などもリース可能です。詳しくは、当協会にご相談ください。

◎ リース期間の短縮・延長ができます

農家の要望によって、例えば法定耐用年数7年の機械の貸付けにおいて、通常のリース期間6年を4年から9年の範囲で変更することができます。

◎ 中古機械もリースします

一定の要件を満たすものは、中古機械（機械施設の種類及び耐用年数の残存期間は問いません。）もリースの対象となります。

◎ 信用保険にも加入（任意）できます

当協会から畜産機械施設のリースを受けている農家の方が、いろいろな事情で経営が破たんし、リース料を納入できなくなって保険事故と認定された場合に、保険会社が代わりに保険金として支払う保険制度です。

（概要）

- 対象となる機械施設は畜産機械施設で、保険期間は開始から最長9年間です（ただし、加入時において赤字経営の方は対象からはずれます。）
- 保険料はリース料残高（残債）の0.5%です。保険金の上限を2,000万円としていることから、1年間の保険料は最大で約100,000円となります。
- 一旦この保険に加入すると、次回以降のリース機械はすべて保険に加入することとなります。ただし、複数の機械が対象になっても、保険金の上限は2,000万円です。

◎ 随時、迅速に貸付けします

当協会のリース申請は、随時、受け付けており、貸付契約も迅速な処理で、農家が必要な時に早急な機械施設の整備が可能です。

リース料等の支払い事例

● 畜産関係施設

- ・リース物件：ブロードキャスター
- ・リース期間：6年
- ・取得した価額：1,100,000円（取得価額1,000,000円、消費税100,000円）
- ・借受者：畜産農家
- ・リース開始日：令和2年4月1日

【支払回別の支払額】

年度別	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		合計
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
リース料	取得価額分	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	900,000
	消費税	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	90,000
	附加貸付料 （利子：残債の1%）	5,000	4,625	4,250	3,875	3,500	3,125	2,750	2,375	2,000	1,625	1,250	35,250
譲渡価格	取得価額分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100,000	100,000
	消費税	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10,000	10,000
動産総合保険料	7,510	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7,510
信用保険料（任意）	2,749	2,543	2,337	2,131	1,924	1,718	1,512	1,306	1,099	893	687	481	19,380
支払額（信用保険未加入）	95,010	87,125	86,750	86,375	86,000	85,625	85,250	84,875	84,500	84,125	83,750	193,375	1,142,760
支払額（信用保険加入）	97,759	89,668	89,087	88,506	87,924	87,343	86,762	86,181	85,599	85,018	84,437	193,856	1,162,140

注1: 貸付料等の支払いは、毎年、3月末と9月末の2回に分けて支払っていただきます。

注2: 動産総合保険料は、機械の種類等によって若干異なります。

注3: 信用保険の加入は、借受者の任意です。

注4: このほか、このリースを扱う農協等の事務手数料がかかる場合があります。

注5: 中古畜産機械のリース料についても、上表に準じて計算されます。

また、動産総合 保険の対象にもなります。

主なリース機械施設、リース期間等

区分	施設名	主要なリース機械施設(注:リース期間は6年、ただし△印は5年) ※下表に無い機械施設でも畜産用であればリースが可能ですので、下記までお問い合わせ願います。
飼料生産利用施設	草地造成用機械施設	ブルドーザー、トラクター、ショベルローダー、ストーンクラッシャー、バックホー、ブラウ、ライムソウー、ブロードキャスター、ブームスプレーヤー、ローターベーター、ロータリー、連絡用車両(普通自動車)、トラック、△ダンプカー、△フォークリフト、△軽トラック など
	自給飼料生産利用機械施設	トラクター、ホイルローダー、ロータリー、コーンハーベスター、テッダー類、レーキ類、モアー類、ブラウ、コンディショナー、フォレージハーベスター、マニヤワゴン等ワゴン類、飼料攪拌機、播種機、散布機、マニヤスプレッター、スラリーポンプ、バキュームカー、ラッピングマシン、フロントローダー、カッター、ロールベラー、ロールカッター、ヘイベラー、FRPサイロ、コーンプランター、ミニスーパーカー、ペールディストリビューター、サイララップ、ラウンドベラー、コンビラップ、トラック、牧柵、農業用GPS、△ダンプカー、△フォークリフト、△軽トラック など
家畜家きん飼養施設	生乳生産合理化施設 (1)搾乳施設 (2)生乳冷却貯蔵施設 (3)生乳検査機械	パイプラインミルクカー、ミルクングパーラー、ロータリーパーラー、搾乳ロボット、自動搾乳システム、ユニット自動搬送システム、バルククーラー、プレートクーラー など 生乳成分分析装置、体細胞測定装置 など
	精液保管等施設	凍結保管器、液体窒素保管器、補給器、データ処理装置、無停電電源装置、輸送用車両(普通自動車、△軽自動車)、トラック など
	畜舎環境改善機械施設	清掃システム(パンクリーナー等)、スクレーパー、集ふん機、スラリーポンプ、袋詰装置、発酵装置、攪拌装置、乾燥機、焼却機、送風機、固液分離機、浄化装置、トラクター、ホイルローダー、消毒装置、細霧装置、節電機、発電機、哺育機、通風装置、受電装置、牛床マット、給水施設、給湯施設、自動給餌機、発情検知システム、滅菌機、飼槽、乳頭清拭装置、高圧洗浄機、電動カウブラシ、牛群管理システム、スタンション、哺乳ロボット、パシチャイザー、カーフフィーダー、パレタイザー、牛舎柵、カーフハッチ、畜舎カーテン、監視システム・カメラ、削蹄機、除雪機、血液分析・超音波診断・X線診断等の家畜診療用機械、家畜診療用車両(普通自動車)、トラック、△ダンプカー、△フォークリフト、家畜診療用車両(軽自動車)、△軽トラックなど
	中小家畜管理機械施設	清掃システム(パンクリーナー等)、スクレーパー、集ふん機、袋詰装置、発酵装置、攪拌装置、乾燥機、焼却機、送風機、固液分離機、浄化装置、トラクター、ホイルローダー、消毒装置、細霧装置、通風装置、自動給餌機、計量器、豚舎柵、鶏舎ケージ、スノコ、カーテン巻上機、トラック、△ダンプカー、△フォークリフト、△軽トラック など
家畜畜産物流通施設	家畜市場機械施設	電光セリ機、個票発行機、電光掲示盤、体重計計測装置 など
	食肉食鶏処理流通施設	冷凍機、冷却機、製氷機、クーラーユニット、自動オープナー、電気スタナー、ラップケーサ、マイクロバス、ダンボール印字機、ポイラー、スチールベルト、スーパーチラーベルト、コンテナ段積機、オートチェッカー、コンベヤー類、真空包装機、梱包機、洗浄機、電撃機、皮剥機、昇降機、自動洗浄背割機、ネックスリッター、掛替機、焼機ライン、自動製函機、肺取機、脱骨機、フライヤー、金属検出機、スキンナー、テーブルリフト、チョップカッター、オゾン発生装置、ハムスライサー、ロボクープ、脱毛機、スパイラルフリーザー、計量器、小腸切開機、大腸切開洗浄機、トラック、△フォークリフト、△軽トラック、△冷凍車、△冷蔵車 など
	鶏卵又は生乳処理流通施設	鶏卵選機、集卵機、汚卵洗浄機、割卵機、トラック、△フォークリフト、△軽トラック、△冷凍車、△冷蔵車、アイスクリーム製造機、ソフトクリーム製造機、冷凍庫 など
	特認機械施設	上記以外のリース機械についても、協会の理事長が特に必要として認めるときは、特認機械施設として貸付けを受けることができます。これまで、特認機械施設の適用事例として、成分検査分析機器、牛乳プラント等があります。

詳しいことをお知りになりたい方は、(公社)千葉県畜産協会、最寄りの農業協同組合
 又は(公財)畜産近代化リース協会までご連絡ください。

(公財) 畜産近代化リース協会

TEL:03-3584-0899 FAX:03-3584-0758

(公社) 千葉県畜産協会 事業部 担当: 梶屋

TEL:043-242-5417 FAX:043-238-1255



チバザビーフ協議会報

チバザビーフ協議会は千葉県産の「うまい牛肉」のPR活動を行っています。



◆枝肉品評会 (R2.10.1)

東京都中央卸売市場食肉市場において、第11回となる枝肉共励会を開催いたしました。

なお、新型コロナウイルスの影響から、実施内容は枝肉審査及び枝肉のセリ販売のみとし、前夜祭及び審査講評・褒章授与式は中止といたしました。

■出品頭数：100頭（黒毛和種 52頭、交雑種48頭）

■黒毛和種の部

(単位：kg・円)

受賞	生産者名称	性別	枝肉重量	枝肉単価	枝肉金額	褒賞
最優秀賞	高山 和視	去勢	524	2,906	1,522,744	農林水産大臣賞 千葉県知事賞 公益社団法人千葉県畜産協会会長賞
優秀賞1席	(株)熱田牧場	去勢	596	2,783	1,658,668	東京都中央卸売市場 市場長賞 東京食肉市場株式会社 社長賞
優秀賞2席	(株)高梨牧場	去勢	528	2,819	1,488,432	公益社団法人日本食肉格付協会会長賞
優良賞1席	(農法)宮澤農産	去勢	580	2,706	1,550,538	千葉県家畜商協同組合 理事長賞
優良賞2席	(株)越川農場	去勢	573	2,451	1,421,580	千葉県肉牛生産農業協同組合会長賞

■交雑種の部

(単位：kg・円)

受賞	生産者名称	性別	枝肉重量	枝肉単価	枝肉金額	褒賞
最優秀賞	岩淵 行雄	去勢	624	1,595	995,280	関東農政局長賞 千葉県知事賞 公益社団法人千葉県畜産協会会長賞
優秀賞1席	(株)宇井畜産	雌	496	1,670	853,370	東京都中央卸売市場 食肉市場長賞 東京食肉市場株式会社 社長賞
優秀賞2席	(株)宇井畜産	雌	511	1,678	832,288	全国畜産農業協同組合連合会会長賞
優良賞1席	(株)ハヤシファーム	去勢	543	1,619	879,117	全国農業協同組合連合会 千葉県本部長賞
優良賞2席	(有)しおさいファーム	雌	475	1,652	784,700	千葉県と畜場協会 会長賞

なお、次回の枝肉品評会の開催日程は次のとおりです。

■第15回チバザビーフ枝肉研究会

開催日：令和3年2月25日（木）〔搬入日：2月23日（火）〕 場所：東京食肉市場

出品予定頭数：60頭（黒毛和種、交雑種）

◆活動状況報告

各種イベント等に参加・協力し、県産牛肉の販路拡大や知名度向上を図っています。

☆第28回ゆめの収穫祭～0h！イモホリディ～【成田ゆめ牧場（成田市）】R2.10.3～4

千葉県産農畜産物の販売・PRのため千葉県農業協会と共同で出店、チバザビーフのカレーの他、卵、芋けんぴ、ハチミツなどを販売しました。

また、チバザビーフPR大使を務める「コズミック☆倶楽部」と妹分の椎名ゆり（ゆびび）さんを一日PR大使に迎え、販売ブースでのPRの他、ステージイベント（畜産クイズなどのPRステージ、抽選会イベントMC）でも活躍いただきました。

なお、ステージではチバザビーフのオリジナル曲を初披露、今後のPRに起用していきます。



☆毎日おいしい千葉県の畜産プレゼントキャンペーン【第14回千葉県畜産フェア】R2.10.21~30

例年、秋に船橋競馬場で開催されていた「千葉県畜産フェア」が今年はWEBキャンペーンにて実施、千葉の畜産に関するアンケートに回答いただいた方の中から150名様に豪華畜産品（うち20名様にチバザビーフ）が贈られました。

☆ユニオンアウトドアフェスティバル【ユニオンベース・METユニオン（印西市）】R2.11.7~8

ユニオンアウトドアフェスティバルは「見て」「触って」「体験する」をコンセプトとした体験型アウトドアイベントで、アウトドア用品・防災グッズ等多種多様なものを展示・販売、インドア展示では味わえない実際の使用感・魅力を「体験」して知ることが出来る催しです。



今回、初めて開催された同イベントにチバザビーフのカルビ重やケバブ丼などを提供する小六茶屋（キッチンカー）が出店いたしました。

☆いい歯のイベント2020・千葉県口腔保健大会【千葉市民会館（千葉市）】R2.11.14

11月8日が『いい歯の日』であることにちなみ、歯と口の健康向上のため「いい歯のイベント2020」が催され、今年も千葉県歯科医師会が掲げる「8029（ハチマル肉）運動」とともに県産食肉等の普及・PRを行いました。



進行役には、チバザビーフPR大使も務めるコスミック☆倶楽部の二人が抜擢、ミニライブも行われ「8029SONG」が初披露されました。

また、ゆめ牧場でのイベントに引き続き、コスミック☆倶楽部の妹分、椎名ゆり（ゆびび）さんに一日PR大使として出演いただきました。

☆食べて巡って千葉を応援！ちばの直売所フェア2020【県内各所の直売所、観光施設など】R2.11.7~12.13

千葉県内の直売所81店舗、観光施設35か所、お取り寄せ店舗で買い物や観光をされた方を対象にプレゼントキャンペーンが実施され、応募者の中から抽選で合計180名様に豪華賞品（うち4名様にチバザビーフ）が贈られました。

☆8029プレゼントキャンペーン【千葉県内のイオンリテール・マックスバリュ】R2.11.14~R3.1.13

千葉県歯科医師会の「8029（ハチマル肉）運動」についての啓蒙活動の一環で、千葉県内のイオンリテール・マックスバリュ限定企画として、「8029プレゼントキャンペーン」が実施され、抽選で合計150名様に豪華賞品（うち50名様にチバザビーフまたはチバザビーフレトルトカレー、30名様にチバザポークまたはチバザポーク加工品詰合せ）が贈られました。

☆ウィークリー千葉県【千葉テレビ】R2.12.19放送分

『チバザビーフ～うまい牛肉食べて応援～』をテーマに特集が組まれ、2農場が紹介されました。

① 宮澤農産（東庄町）

子牛の種付けから肉牛の育成までの一貫経営。
手塩にかけて牛を育てる様子が放送されました。

② 椎名牧場（旭市）

地元で育った美味しい牛肉を食べてもらいたいと開いた牧場直営の農産物直売所「あんしん村」、焼肉店の「焼肉しいな牧場」が紹介されました。



宮澤農産 宮澤武志氏

椎名牧場 椎名寿行氏

なお、放送の様子は、YouTubeの千葉県公式PRチャンネルなどでもご覧いただけます。

◆公式ホームページ

下記アドレスまたは右記のQRコードよりアクセス下さい。（事務局 小倉）

☆イベント情報・取扱店情報

<http://chibathebeef.jp/>





1. 三代目・マスコット着ぐるみ完成披露 2020/10/20

コロナ対策（履物消毒、会場入口で、マスク着用、検温、手指の消毒チェック）をお願いし、会場内では窓を全開にした中で役員16名、事務局3名が参加して令和2年度第2回理事会が開催されました。その席で本年ようやく完成した着ぐるみを披露し、名前が決定いたしました。

2018年9月から、完成を2020年5月のマリスタジアムinポークイベントに披露する目的で制作の準備に入り2020年7月に漸く完成しました。制作依頼先は、大阪にある(株)サンモルドという着ぐるみ作成会社で40年の実績があり、作成体数1万体制以上の実績を持つオーダーメイド着ぐるみ専門店で熊本のくまモンもこの会社の制作です。



『ちーとん君』と決まりました！

完成前から機会あるごとにイベント等で名前を募集し、106の名前の応募がありました。理事会で協議し、「ちーとん君」と決めました。新型コロナウイルス感染拡大でイベントの開催が出来ない状況から、何時皆さんに披露できるものかとコロナ終息を待つばかりです。

2. 口蹄疫慰霊10年祭開催 2020/10/23

福島県新白河にある（独）家畜改良センターにおいて宮崎口蹄疫慰霊碑が建立され10年目になることから、（一社）日本養豚協会（JPPA）と全国肉牛事業協同組合合同による慰霊10年祭が雨の中しめやかに開催されました。

式典には、農林水産副大臣葉梨康弘衆議院議員、武井俊輔衆議院議員（宮崎県）、農水省から井上崇副大臣秘書官、生産局畜産部犬飼史郎畜産振興課長、石川清康消費・安全局動物衛生課長、内田幸雄関東農政局長他関係者、生産者総勢138名が出席されました。



平成22年4月20日に宮崎県において発生した口蹄疫は5市町約30万頭に及び豚・牛の殺処分という未曾有の大惨事をもたらし、畜産農家の法令に基づく殺処分等への協力、関係者の尽力により同年8月27日に終息宣言となりました。

本慰霊碑はこの口蹄疫で犠牲となった家畜を慰霊するとともに、この惨事を再び繰り返してはならないとの思いで、福島県の家畜改良センター玄関前に建立されたものです。全国の畜産関係者が口蹄疫初期の段階で防圧できず、生命を途中で絶たれた家畜を慰霊すると共に、今回の惨事を反省し、教訓として後世に伝える目的で、慰霊碑が建立されました。

★宮崎県産：尾鈴石（高さ4m・幅1.4m・重さ16t）

JPPA香川・トンセイレン志澤両会長

3. 自民党養豚農業振興議連総会開催豚熱（CSF）関連要請 2020/10/27

東京千代田区永田町所在の衆議院議員会館1階多目的ホールにおいて自由民主党養豚農業振興議員連盟総会が開催され、（一社）日本養豚協会（JPPA）、日本養豚振興政治連盟（トンセイレン）による豚熱対策に関する要請書を宮腰光寛会長へ提出いたしました。



宮腰会長（富山）

葉梨農水副大臣（茨城）

宮下農林部会長（長野）

森 顧問（千葉）

江藤顧問（大分）

JPPA香川会長から「予防的ワクチン接種推奨地域が東北へ広がり収まらない。野生イノシシの感染で防疫体制が厳しく経営の存続にまで影響がある。」と、今回7項目を要請しました。



●豚熱対策に関する要請書

- 1 豚熱の蔓延拡大の媒介となっている野生イノシシ対策の所管については、家畜防疫を所管する農林水産省に一元化し、対策のスピードアップを図ること。
- 2 豚熱ワクチンの接種方法については、現在の都府県職員である「家畜防疫員」による接種から、管理獣医師による接種に移行するとともに、敵機に免疫付与し抗体未獲得の子豚が生じないよう接種プログラムの改善を図ること。
- 3 都道府県の自治事務となっている家畜防疫の推進については、国が責任を持って一元的に推進すること。
また、そのような体制に移行するまでの間にあっては、都府県ごとに格差の大きいワクチン接種料金について、国の責任でできるだけ安価に統一するよう都府県を指導すること。
- 4 家畜伝染病による殺処分家畜の処理方法については、前近代的な土中埋却からレンダリングや焼却を主体とした手法への転換を図ること。
- 5 豚熱ワクチン接種推奨地域の拡大に伴い、種豚及び精液等の流通に支障が生じていることから、円滑な流通対策に支援を行うこと。
- 6 家畜防疫互助基金について、生産者の意向を踏まえた制度設計とし、十分な予算額を確保すること。
- 7 アフリカ豚熱については、予防殺後も長期休業が避けられないことから、家畜防疫互助基金とは別に、長期的な経済的支援策を準備すること。

要請書を説明の後、JPPA岡部副会長から要請書の2番目の家畜防疫員の接種から管理獣医師による接種に移行し、適期に免疫付与し抗体未獲得の子豚が生じないよう接種プログラムを科学的な根拠に基づき改善を要請した理由を説明。3番目の国が定めるワクチン接種推奨地域においてワクチン接種料の地域格差は生産者にとって不公平感が生じる。長期間ワクチン接種が必要となることから国家防疫の位置づけとして可能な限り安価で統一するようご指導願いたい」旨説明。



●トンセイレンからの重ねての要請（竹延会長代行）

「CSFというのは日本になかったものが侵入してきたことで、国家防疫という観点を強く持って頂きながら施策をお願いしたい。国家防疫ということから我々は外国から日本の水際を通り抜け侵入したものに、なぜワクチン代を負担しなければならないのかという気持ちを持つ中で、全国ワクチン代が150円という大きな運動をしていきたいが、国家防疫、ウイルスの侵入を許したということに重きをおいて施策をお願いしたい。ましてASFが侵入すれば我が国の養豚は壊滅的になる。国家防疫という観点からは是非とも皆さん施策を繰り返しますがお願いしたいと思います。」と重ねて要請を致しました。

4. 農場衛生管理区域防疫強化のための対策 2021/1/5

養豚場では、野生イノシシ及び野鳥対策として「飼養衛生管理基準」に基づき、防護柵、防鳥ネットの対応が強く求められているが、現場で対応するに際し基準対応が難しく、どう対処すべきかとの戸惑いの声が聞かれる。協議会では、野性イノシシを介して感染拡大している豚熱や水際対策の強化がされているものの侵入脅威にあるアフリカ豚熱に加え、PEDの発生の情報も聞かれ、より防疫対策の強化が不可欠である。今回、協議会一般予算及び緊急対策基金を活用し、より生産者の意識を高める目的で防疫のための看板を作成し、会員への配布を開始しました。



ナイスポークチバ推進協議会
事務局

公益社団法人千葉県畜産協会 事業部（担当:加藤）
TEL:043-241-3851 FAX:043-238-1255



令和2年度千葉県肉豚共進会 ～旭市の平野健治氏が農林水産大臣賞を受賞！～

令和2年度千葉県肉豚共進会を10月6日（火）～8日（木）旭市の千葉県食肉公社を会場として開催いたしました。

全体の成績としては、コロナ禍ということもあり63組126頭の出品数で、上物頭数89頭、上物率70.6%、平均枝肉重量76.8kgという結果であり、その中から比較審査を行い、旭市の平野健治氏が名誉賞を受賞いたしました。

名誉賞に輝いた平野氏の出品豚は、雌は極上で枝肉重量77.5kg、去勢は上で78.5kgとほぼ揃い、枝肉のまとまりが良く、前軀から中軀、後軀にかけての流れ、枝肉の厚みもあり名誉賞にふさわしい特徴を備えたものでした。外観は肉づき、仕上げに優れ、肉質は肉の光沢、脂肪の質が優れていました。とりわけ、枝肉の全体的なバランス、肉質を含めたまとまりの点で、秀でた特徴もさることながら他と比べて欠点の少なさが名誉賞の決め手になりました。（生産課 金杉）



名誉賞 受賞豚 旭市 平野 健治 氏

●上位入賞豚の買い増し

名誉賞	1000 円/kg
優等賞（1席～2席）	100 円/kg
優等賞（3席～5席）	50 円/kg
優等賞（6席～10席）	30 円/kg
極上	100 円/kg

賞	出品 No.	市町村	氏名
名誉賞	52	旭市	平野 健治
優等賞 1 席	10	富里市	佐々木 浩
優等賞 2 席	30	東庄町	鈴木養豚
優等賞 3 席	40	香取市	木村 勝幸
優等賞 4 席	57	旭市	(有)伊藤養豚飯岡農場
優等賞 5 席	58	旭市	辻内 嘉明

「食の安全・安心」のための第1歩は、
「法令遵守」であることを
改めて認識してください。

地方競馬の収益金は
畜産の振興に
役立てられています。



本誌「畜産ネットワークちば」に広告を掲載していただだけませんか！

年3回発行（春、秋、新年）。掲載は、頁最下段にこの大きさ（170mm×45mm）で。
掲載料1回1万円（1回単位で申し込めます）
お問い合わせは、千葉県畜産協会 総務・企画部まで（TEL 043-242-5417）

部 署		TEL	FAX
総務・企画部	総務課	043-242-5417(代)	043-238-1255
	企画課	043-242-6333	
事業部	経営・環境課	043-241-1738	
	衛生指導課	043-241-1738	
	生産課	043-241-3851	

Eメール：info@chiba.lin.gr.jp

URL http://chiba.lin.gr.jp